

編輯室の内外

改曆して昭和十一年の新年號を、豫定の通り刊行し得たことを歡喜を以て御披露する。本年は紀元二千五百九十六年丙子の歲である。西曆千九百三十六年で五、六年には我國は危機に瀕するが如く傳へられたが昨三十五年は無事であつた。今年は果して非常時の突發することであらうか、北支問題がまさか第二次世界戦争の動機とはなるまい。滿洲國北陞も別に異狀あるべしとも思はれず、去りとして伊エ紛争に對する英佛の威力も疑はるるに至つたので大平洋上黒煙をみなぎらす不經濟國も出現しそうにも思はれない、そこで吾人は此秋に乗じて産業の作興と民力の振起との爲めに一段の馬力を加へ彗筆を呵して大方の恩顧に報ぜんことを期する。

明年度の國の豫算も二十二億七千二百萬圓の巨額を示すと傳へらるゝが、内務當局

叙任辭令

の獅子奮迅の活動と民力の疲弊困憊に深憂をいだく高橋藏相の認識とて道路關係豫算は千五百三十五萬九千圓を獲得し得たとの事である。設令應急土木事業費千四百四十萬七千六百餘圓を全廢せられ差引六百十五萬九千圓を減じたる計算となるも陸海軍費の爲に約十一億圓を投せねばならぬ場合であるから官民協力して此道路豫算額に依つて未曾有の効果を收め、以て民力を涵養し、いざ鎌倉といふ場合に處し悔あらざらしめたいものである。政見の相違はあつても帝國議會の議員は國情の眞相を確認して協賛せられ、京濱國道の複線も其他國府縣國の改良も時代の趨勢に適應するを得るに至らんことを要求せざるを得ない。

實力の保證なき國際條約は樂器なしに音譜を眺めるが如きものだとは世界戦争の當時の獨逸皇帝カイゼルの國際條約は一片の反古にすぎずと其價値を等しうするものである。だが來たらざるを待む勿れと戒言

する者あるも軍備整はざるにベルギーの中立を侵犯した獨逸と同一視するのは杞憂にあらざれば軍部の所謂大乘的觀察ではあるまいか、大平洋上異狀なしと何人か斷言し得るであらうか、狼が着服して平和を裝ふものは何れの方面にあるにや。

舊曆第十二號漫錄中七九頁上段七行目にモリスとあるはハリマンの誤であります。ペン先の粗滲を陳謝します。(洩)

★ ★ ★

定價一部 五十錢
一ヶ年分 金 六圓

發行所 東京市麴町區外樓田町一番地内務省内
社 團 道 路 改 良 會
電話銀座(分)四二七

發行所 東京市世田ヶ谷區北澤五丁目七五二

編輯者 小 島 效

發行所 東京市小石川區諏訪町五六

印刷所 常 馨 印 刷 所

印刷者 奈 良 直 一